

事業所名	みんなの家いずみ		
日付	平成19年3月9日		
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター		
評価調査員	①	介護支援専門員・認知症ケア専門士	※
	②	介護支援専門員・介護福祉士	
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)			
評価項目内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)			
事業者のコメントを見る (評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります)			

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
・母体である医療法人 弘友会による『「宝」一人ひとりの笑顔こそがーばんの宝』『「5つの心」1、泉の心(人生に安らぎと潤い)2、奉仕の心 3、感謝の心 4、尊敬の心 5、プロの心(使命感と責任感)』を誓い、介護職員が今年度よりホーム独自の目標に向かって職員が一丸となり、笑顔のサービスを提供しているのがひしひしと読み取れる素晴らしいホームである。調査当日にも看取り介護が行われており、医師・看護師・職員は機敏な動きであるにも関わらず、その状況下にあっても他の入居者へ不安を与えることの無いスタッフ間の連携が窺えられた。
・入居者一連の記録は個人個人の意思を尊重された自己決定・家族との面会・相談・スタッフとの会話も多くなされ、ケアプランの作成等に反映されている。職員のレベルアップ向上、研修体制も積極的に取り組んでいる。
・外出支援や室内アクティビティ等、生活活動の範囲を増やし、自由にくつろげる空間・雰囲気作りを通して自然に信頼関係が出来あがっている。
・プロの心としては、職員の意思統一がなされている。目標が達成できたかどうかを個々に反省し、研修や自己研鑽を重ね、ホームの介護従事者の認知症ケア対応への努力の足跡が窺えた。
・地域推進会議等、地域交流が定期的に開催促進されている。(四季折々の行事等)
特に改善の余地があると思われる点
特別ありません

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	入居者の方の人格を尊重し、親切・丁寧を目指し、責任をもった接遇がなされている。常に健康に留意し、明朗な態度を失うことなくお互いに協力し合い、能率の向上に努力するよう心掛けている。		
	入居者の方が精神的に安定し、健康で明るい日常生活が送れるように、家庭的な環境の下、本人の意思の『心』とスタッフの『心』を大切に生活支援を行うことを目指している。		
	また、利用者一人一人に作成されたアルバムの写真からは、利用者とスタッフの落ち着いた表情が見ることができた。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周や空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	その人がどのような気持ちでいるかという心の叫びや思いをいち早く読み取り、手を握る等心が落ち着くような対応に心掛けている。職員も慌しくなく、家族のように入居者同士のコミュニケーションを大切にし、職員もストレスを溜めず、いつも良い表情で対応していくような場所作りに力を入れている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人の力と経験の尊重やプライバシー保護の為に取り組んでいるものは何か。		

職歴を活かした一人ひとりの生活歴を大事にした支援を心掛けている。経験・尊重・プライバシーを大切に、日常生活の中にその人それぞれの長所を活かした取り組みや雰囲気作りを活かせるように働きかけている。声掛けをし、存在感を出すように写真等本人の意向・家族の同意を得ながらの支援が行われている。

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	職員研修をはじめ、外部研修にも参加し、研修報告でのスタッフミーティングを行い、自己研鑽が充分に出来ている。職員の質の向上が図られ、人に対する心・スタッフの心を目視している。		